

見慣れた風景に潜む危険な化学物質

2020年10月

ベイルート港付近の破壊状況



Google Street View, 2017年4月



EPA, 2020年8月5日



2020年8月4日の爆発前後のレバノン、ベイルート港湾地区

2020年8月4日、レバノンのベイルートで巨大な爆発が発生して、少なくとも160人が死亡、5,000人以上が負傷し、推定30万人(本Beacon作成時点の数値)が住居を失う事態をもたらした。現時点では被害程度も爆発の原因も明らかになっていない。爆発した物質、硝酸アンモニウム(硝安)、は一般的な肥料だが、鉱山で使用される爆破剤でもある。およそ2,750トンが倉庫に6年以上にわたり保管されていた。現地当局はこの物質の存在と保管年数を把握していたが、保管作業の管理対応が不十分だった。このベイルートでの爆発への対応措置として、幾つかの港湾では硝安の保管を制限ないし廃止するという手続きを取った。(参考:2020年8月21日付, Washington Post)

あまりに長い間放置されている物品に対して、我々は日々横を通り過ぎるが「見えてない」。これは整理整頓以上の問題である。全ての化学物質、特に変質する可能性がある物質は、正しく保管することが必須である。

自分の職場にたまにしか使用しない化学物質が入ったドラム缶または容器がないだろうか? それらのラベルをよく見たことがあるだろうか?

知っていますか

- 化学物質の中には保管寿命のあるものがあり、期間が長過ぎるか、または不適切な条件で保管した場合、変質する可能性がある。湿気や空気あるいは他の物質が変質につながる。
- 変質は:
 - 化学的活性を損なって物質の効能を低下させる。
 - 危険物質を安全に保つための安定剤や抑制剤などの添加剤に悪影響を与える。
 - 激しく、壊滅的な分解を招く恐れがある。
(参考:PS Beacon 2006年1月号)
(<https://www.aiche.org/ccps/resources/process-safety-beacon/archives/2006/january/english>)
- 通常、安全データシート(SDS)には、正しい保管条件と正しい取扱いならびに廃棄の指示が記載してある。
- 職場で不必要な化学物質があると、漏れたりこぼれたりする潜在的な原因になる。
- 職場で必要以上に物質を保管すると、漏洩や放出が起こった際の被害を拡大してしまう可能性がある。

あなたにできること

- 自分の職場の中で長い間放置してあるドラム缶または容器を探すこと。それらの有効期限を点検し、正しい保管条件を確認すること。
- 期限切れの容器を見つけたら、直ぐに上司に知らせること。古い容器を開けたり動かしたりしないこと。中の物質が不安定になっていたり、容器が腐食したりしているかもしれない。
- 例え容器の有効期限内であっても、何故そこにあるか質問すること。もしかしたら、それは置き忘れられた物かもしれない。そうであれば、その容器は正しい保管場所に移す必要がある。
- 化学物質を使用する時は、製造日を確認して、古いものから順に使用すること。期限切れでない限り!

職場に長い間保管してある物質には要注意